

東京工芸大学笠尾研究室・株式会社ピコトン・株式会社イメージマジック共同企画
ユーモアで環境を救えプロジェクト 2008 第 2 弾作品 10 点公開
～Tシャツが 1 枚売れるたびに 500 円が優良環境 NPO に支援金として提供されます～

東京工芸大学：芸術学部准教授笠尾敦司氏の発案により、氏の担当するユーモアデザイン演習受講学生、ピコトン、イメージマジックが協力し、ビジュアルデザインが实际的に環境活動を支援する企画「ユーモアTシャツで環境を救えプロジェクト」のサイトに学生の新作 10 点を追加します。

笠尾氏の担当するユーモアデザイン演習受講学生は難しい環境問題をユーモアで伝えることのできるTシャツ柄デザインを制作することを演習の課題として学びます。そして、その結果制作されたデザインを著作権料に当たる金額は全て環境団体に寄付されることを前提に無償で本プロジェクトに提供しています。課題の中では、「Tシャツは環境ネタであってもファッショナブルでユーモアのあること」、「着られたTシャツを町の中で見た人が環境コンシャスに変わるきっかけになること」などがTシャツ柄の条件として与えられました。

実際にこの活動を広げて行くには、ホームページの運営、Tシャツ販売のプロモーションなど、いろいろな経費がかかって来ますが、地球環境は我々の問題ですから、このプロジェクトをピコトン、イメージマジックは全面的にバックアップし、それらができるだけ押さえ、買ってもらえるTシャツ価格を実現しました。

寄付をさせて頂く団体としては我々が独自に調査を行ない、決定させて頂いております。単に有名な団体だから寄付を行なうということはしておりません。現在のところ「NPO 法人中野・環境市民の会」様に寄付させて頂くことが決定しておりますが、今後も支援 NPO を増やしていく予定です。

ピコトンでは、学生のデザイン画をTシャツ柄に合わせるための調整、プロジェクトページの制作・運営を、そして、イメージマジックでは、運営するUP SOLD.COMの製造販売システムの提供と、主にサイト上でのプロモーションを担当しております。

主催者である笠尾准教授は、担当する大学の演習全てを社会とつなげ、発展させていくことを考えており、本プロジェクトも演習の一部として継続させる一方、趣旨に賛同して頂けるクリエイターにデザインの提供を呼びかけていくとのことです。

プロジェクト名：ユーモアで環境を救えプロジェクト 2008

URL：<http://humor.picoton.com/>

第 2 弾公開日：2008 年 2 月 1 日(金)

本プロジェクトに関してのご質問は笠尾准教授 (kasao@dsn.t-kougei.ac.jp) まで、また、Tシャツ販売に関するご質問は (株)ピコトンまで、お願いします。※本プロジェクトではTシャツだけではなく、トートバッグの販売も行なっております。(了)



作品
「POOR ANIMAL
～POLAR BEAR～」
地球温暖化の象徴となっている
ホッキョクグマを版画で表現



作品
「地球はつらいシリーズ2
地球温暖化」
環境問題を顔で表現した
4 作品中のひとつ



会社概要

1. 代表者：内木広宣 (26 歳)
2. 設 立：2007 年 5 月
3. 資本金：3,000,000 円
4. 業務内容：キャラクターデザイン、WEB デザイン、DTP、ワークショップの企画・運営など

人と人をつなげるコミュニケーションデザインを行うデザインベンチャー

この件に関するお問い合わせ先

株式会社ピコトンの内木広宣(うちきひろのぶ)までお願いいたします。

TEL&FAX：(03) 3372-5530 E-mail：info@picoton.com HP：<http://www.picoton.com>
当リリースの PDF ファイルは <http://pr.picoton.com/pr080201.pdf> でも閲覧できます。